

一般質問

学校給食費の無償化を強く求める



日本共産党
村本ひろや

問 学校給食費の無償化は、食育の重要性や子育て支援の観点から、実施を求める声も高まっている。学校給食法が制定されたときは、当時の文部省も給食は将来的には無償にすべきとの考えを示しており、この原点に立ち返る必要がある。平成29年度の時点で、76自治体が小・中学校で無償化しており、小学校のみ、又は中学校のみを含めると82自治体となる。財源対策を講じながら、本区でも中学校3年生から段階的に実施していくべき。

答 学校給食費は、学校給食法に基づき、施設・設備費、給食従事者の人件費については学校設置者が負担し、食材料費等それ以外の費用は保護者が負担するとしているため、現行が適当であると考え。なお、現在、学校給食費の無償化を実施している76自治体のうち、74自治体は町村であり、そのうち56自治体は人口1万人未満の自治体であると認識している。

問 違法民泊の発見には区自ら動く必要があるが、区民の不安を解消するため、区内を巡回・調査し、指導に力を入れるべき。

答 違法民泊の発見には巡回調査だけでなく、近隣の方々からの通報が効果的で確実である。今後も警察等と連携しながら厳正に対処する。

問 区は現在、届出が提出された民泊事業者に対して、具体的にどのような指導・監督を行っているのか。また、新たに条例を制定するなど規制強化も検討すべき。

答 法令違反については直ちに改善指導を行い、監視指導は効果的で効率的な指導を計画的に行う。また、法の趣旨に沿った指導を行い、適正な民泊運営を確保していく。

町会・自治会への加入促進を



すみだの絆
田中 哲

問 町会・自治会には、新しい役員 のなり手の問題がある。マンション建設が増える中で、若手役員の加入と女性役員の参画の重要性を耳にする。知る限りでは青年部と女性部のある町会の活動は活発であるため、この件について集中的に対策を講ずるべき。

答 品川区では条例でマンション新築工事の事業者に対し、町会等の窓口となる「地域連絡調整員」の選任を義務付けているが、本区でも導入してはどうかあるいは、紳士協定としてマンション事業者と町会等との間で、加入を条件とすることも可能ではないか。さらに、この紳士協定書のひな型を区で作り、町会等に配布してはどうか。

答 青年部と女性部のある町会の活動が活発であるので参考にすべきとの提案については、全町会・自治会実態調査の中でも、参考事例があるので支援策を検討したい。「地域連絡調整員」制度は、事例を調査したところ、運用に課題があり現在活用されていないため、本区への導入は今後の経過を見守っていききたい。マンションと町会の紳士協定については、町会は任意加入が前提となっておりことから、事業者に入居の際の町会加入を条件付けることは困難だが、協定書のひな型の作成については、町会・自治会の意見も伺いながら検討していく。

問 橋の架け替えには数年の時間と多くの財政負担も伴う。今後の架け替えの順位を明らかにするなど、架け替え計画を公表するべきだ。

答 平成27年度に橋梁長寿命化修繕計画を橋の点検に基づき修正し、区ホームページで公表している。次回の点検は平成31年度の予定で同様に周知する。

公害防止融資資金の要件緩和を



自由民主党
しもむら 緑

問 本区は住工共存地区が大多数を占め、産業振興のまちとして栄えてきたが、近年は新住民と事業者との間で騒音等のトラブルが報告されている。区は公害防止設備の設置に融資を行っているが、融資要件に至らないケースでトラブルになりかねない案件も多数あるため、融資要件の緩和を提案する。住工混合のトラブル等の認識と解消に向けた対策、融資要件の緩和についての考え、ものづくりのまちを守るための施策展開について伺う。

答 ご指摘のトラブルに関する事例の発生は認識している。公害防止資金融資の要件に至らない軽度の騒音や振動、臭気等の予防や解消を図るため、要件を緩和した新たな融資制度の創設を検討している。事業者側の「積極的な予防措置」を設けることで事業者と住民の融和や、トラブルによる事業者の区外転出防止に取り組んでいく。産業振興会議での議論を踏まえ、今後の産業振興施策の展開を考えていく。

問 区では産後うつスクリーニング・グ・産後うつ相談を行ってきたが、その結果を受けて、次の有効な対策を取られてこなかった。産後ケア事業の実施に対する決断を伺う。

答 様々な手法について、効果的な方法を検討し、必要な対象を見極めながら、実現に向けて迅速に準備を進めていく。

問 墨田区事業継続計画（BCP）【地震編】は平成22年から改定されていない。策定根拠となっている法律等と整合性を図り改定すべき。

答 全国各地で地震災害が発生しており、災害から生じた課題や直近の被害想定を勘案し、早急に見直す必要があり、今後、具体的検討に入る。

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 12月6日(木)

案件 議案2件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 職員の自己啓発等休業に関する条例

職員の大学等における修学等を支援し、もって多様化する区民ニーズに対応することができると職員を育成するため、自己啓発等休業の制度を導入することに伴い必要な事項を定めるもの

送り出す体制も大切

意見 いい経験を身につけた職員が花を咲かせられるよう、送り出す体制も整えてもらいたい。

可決 平成30年度墨田区一般会計補正予算

区立小学校の通学路に面する民間ブロック塀等撤去工事に係る助成経費、区立中学校2校の屋内運動場空調設備の設置に係る経費等、20億5751万2千円を追加するもの

通学路以外の民間ブロック塀等については今後検討を

意見 保育園や幼稚園に通園する道路に面した壁や、公園の壁など、通学路以外にも危険な民間ブロック塀等に関する通報はあり、今後、対応を検討していく必要はある。

地域子ども文教委員会

開会日 10月25日(木)

案件 議案1件(参考人招致)

開会日 12月3日(月)

案件 議案13件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 墨田区子ども読書活動推進条例(議員提出議案)

子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に進めるため、子ども読書活動推進に関し、基本理念、区の責務その他必要な事項を定めるもの

学校図書館の蔵書の改善等を求める

意見 この条例によって学校図書館の充実が期待されるが、蔵書や職員配置など、今後改善されていくことを求めて賛成する。

参考人を招致しました

定例会開会中の10月25日に本委員会を開会し、墨田区子ども読書活動推進条例(案)の審査に資するため、参考人として墨田区図書館運営協議会会長 上田修一氏と墨田区立小学校PTA協議会会長 白土大輔氏を招き、質疑を行いました。



参考人との質疑のようす

可決 墨田区地域プラザ条例(一部改正)

利用者の利便性の向上を図るため、八広地域プラザ大会議室の利用区分及び利用料金を改めるほか、施設の管理上の理由から、同プラザ外部コミュニケーションの利用時間を短縮するもの

現場では柔軟な対応を

問 会議室を分割で借りることができるとなると、利便性は上がるが、大人数で利用したい方にはデメリットになる場合がある。貸出しに当たり、現場で柔軟な対応をするよう指導していくのか。

答 指定管理者は貸出しに当たり、利用する人数に応じた会議室を案内することを考えている。

可決 すみだ生涯学習センターの指定管理者の指定について

平成31年4月1日から5年間、JNすみだ共同事業体を指定管理者に指定するもの

働く方へのサポート体制は

問 施設内には障害者が働くレストランもあり、今回受託する指定管理者は、このことに理解が必要だが、レストランの運営団体が心配しているため、サポートをお願いしたい。

答 指定管理者とレストランの運営団体がお互い連携を取っていきけるよう、区も介していきたい。

区の直営が望ましい

意見 区が直接関わることで、職員の知見を広めることにつながった。そのため、区の直営が望ましく、指定管理とすることは反対である。

産業都市委員会

開会日 12月5日(水)

案件 議案1件、陳情5件、報告6件

◆主な審査状況を紹介します。

採択

押上駅の改善に関する陳情【第1項第2号及び第2項】

旧改札口開放について京成電鉄と東京地下鉄に要望書の提出及び駅の改善に積極的に取り組むよう区の働きかけを求めるもの

積極的な働きかけを

不採択

株式会社島田商店による墨田区東墨田二丁目16番における工場建設の認可申請に関する陳情

事業者が申請する工場設置認可の審査に当たり、環境確保条例に基づく措置等がなされているか、十分な調査等を求めるもの

意見

認可申請が出れば確認をする形であり、認可要件とも関係がない事項である。ただし、住民説明に関しては区の担当が入り、丁寧な事が進むようにしてほしい。

不採択

東墨田地区(東墨田一丁目から三丁目)の用途地域の見直しに関する陳情

現在「工業地域」となっている用途地域を「準工業地域」へ変更を求めるもの

直ちに変更することは難しい

意見

今働いている方々が非常に大きな影響を受けるため採択は難しいが、区はものづくりを守るための施策と、住環境を守るということは、しっかり行ってもらいたい。

不採択

「北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業」の計画見直しに関する陳情

隅田公園の整備工事を一時中断し、公聴会などを開催して区民等と協議をし、計画の再検討等を求めるもの

将来を考えれば整備はいいことだ

意見

隅田公園の歴史的な面もよく分かるが、事業全体としては、新たなイベントもできる公園になることは、将来を考えたときには、墨田区にとっていいことだと考える。

継続

東海第二原子力発電所の運転期間延長及び再稼働を行わないことを求める意見書の提出に関する陳情

東海第二原子力発電所の運転期間延長及び再稼働を行わないよう、国に対し、意見書の提出を求めるもの

原子力によらないエネルギー開発を

意見

日本が率先して原子力によらないエネルギー開発をすべき。

周辺自治体の動向を注視

意見

運転延長は認められたが、周辺自治体の同意が必要であり、そちらの動向を注視していくため、前定例会に引き続き今回も継続したい。

区民福祉委員会

開会日 12月4日(火)

案件 議案5件、陳情3件、報告4件

◆主な審査状況を紹介します。

可決

墨田区福祉作業所条例(一部改正)

施設の老朽化等により墨田福祉作業所を廃止するもの

新しい施設の交通安全対策は

不採択

臓器移植の環境整備に関する陳情

臓器移植に係る意思表示に関する更なる啓発、臓器提供施設の事情に応じた支援、移植コーディネーターの確保支援、臓器移植施設の担当医の負担軽減対策、臓器移植ネットワークの構築されていない国で移植を受けることがないようブローカーの厳罰化などの対策について、国に対し、意見書の提出を求めるもの

問

現在、整備が進められている新しい作業所について、これまで交通安全対策等が議論されてきたが、今の状況は。

答

歩道と車道の色分けを施したほか、送迎バスの運行を検討している。施設前の横断歩道設置についても警察と相談していきたい。

実態を把握できない部分がある

意見

ドナーを増やすための対策は進めていくべきと考えるが、この陳情はすべての願意に沿うべきものと考ええると、実態をつかめていない部分もあり、採択は難しい。

採択

葬祭業における法整備の推進と都内における火葬料金の低廉化及び福祉葬の公平・公正な運用に関する陳情

葬祭関連業に関する総合的な法整備及び火葬料金の低廉化について、国及び都に対して意見書の提出を求めるとともに、福祉葬を執り行う事業者を紹介するときは、区民葬儀同様、特別区区民葬儀運営協議会の指定業者も紹介することを区に求めるもの

23区内の火葬料金は非常に高額な状況である

意見

法を整備し、安心して葬儀を行える環境を整えるべき。また、東京23区内の火葬料金は非常に高額だが、区民はどうしてもお願いしなければならぬ状況にある。福祉葬の相談対応に際し区は、地元葬儀業者の情報を提供し、地元から旅立って行けるような形を整えてほしい。

採択

押上駅の改善に関する陳情【第1項第1号】

押上駅「B3出入口」に下りエスカレーターを設置するよう、京成電鉄と東京地下鉄に要望書提出を求めるもの

地元住民の切実な声である

意見

「押上駅B3出入口」は、時間帯によってはかなり人が集中している。駅の構造や危機管理上の課題等はあるかもしれないが、地元住民の切実な声を受け止めたい。

特別委員会の活動

議会改革特別委員会

【11月16日】

(仮称)墨田区議会基本条例(素案)に係るパブリック・コメントの回答案等について

10月に実施したパブリック・コメントの応募状況と、寄せられた意見に対する回答案について、調査・検討を行った。その他、逐条解説の作成及び本条例の区議会だよりにおける取扱いについて、調査・検討を行った。

【11月30日】

(仮称)墨田区議会基本条例(素案)等について

条文案の修正及び委員会提出議案として議長へ提出することについて、調査・検討を行った。この他、パブリック・コメントの回答案、本条例の逐条解説(案)、題名、提出方法、本条例の運用に係る検討課題(案)、通年議会等の検討に係る今後のスケジュール(案)について、調査・検討を行った。

【12月12日】

地方公会計制度等について

統一的な基準による財務書類の作成及び地方公会計制度活用 of 取組について、調査・検討を行った。この他、国・東京都の動向を踏まえた児童相談所機能の配置に向けた対応状況について、調査・検討を行った。

【11月21日】

通学路に面する民間ブロック塀等の撤去費助成について

平成30年6月に発生した大阪北部を震源とする地震による塀の倒壊事故を受け、区立小学校の通学路に面する民間ブロック塀等の撤去助成制度の導入について、調査・検討を行った。

【11月16日】

災害対策特別委員会

行政調査の受入状況(平成30年下半期)

墨田区議会では、議会関係者の行政調査の受入を積極的に進めています。平成30年下半期は、16自治体が行政調査に訪れています。

来訪日	自治体名/調査項目
7月	10日 新潟県長岡市 事業承継支援等の中小企業支援策について
	11日 京都府京田辺市 中小企業活性化について
	19日 福岡県田川市 中小企業振興条例の理念に基づく施策について
	19日 茨城県潮来市 すみだ北斎美術館について
	20日 宮崎県宮崎市 墨田区総合体育館について
	24日 富山県高岡市 中小企業振興策について
8月	1日 東京都中央区 すみだ晴山苑の管理運営について
	2日 高知県高知市 生活保護費における住宅扶助の代理納付制度について
	3日 愛知県瀬戸市 中小企業振興策について
	27日 東京都中野区 すみだ国際学習センターについて
	29日 大阪府大阪市 墨田区観光振興プランについて
	29日 愛知県名古屋市長 墨田区立おしなり公園について
10月	16日 福岡県大川市 地域ブランド戦略の推進について
	12日 沖縄県宜野湾市 墨田区のがん教育(がんモデル授業)について
11月	15日 福井県大野市 議会改革特別委員会の夜間委員会開催について
	16日 広島県福山市 ごみ分別案内チャットボットの利用について

決算特別委員会のもよう

決算に対する各会派等の主な意見

認定 自由民主党

■防災対策として、学校体育館にエアコンを取り付けることについて、来夏から計画的に導入できるように着実な検討を求める。

■教育施策では、平成30年度が最終年度である学力向上新3か年計画の目標達成のため、取組を更に推し進めることを強く求める。

■子育てしやすい施策づくりでは、幼稚園や在宅子育てに対する支援等、保育園以外でも適切な子育てができる環境づくりを求める。

■観光施策について、すみだまち処のあり方や北十間川観光回遊路における短距離舟運の活用方法等を検討することを求める。

■事業の大小にかかわらず、政策目的と効果を十分に検証した上で、来年度予算を編成することを強く求める。

不認定 日本共産党

■最大の問題は、区民の負担軽減など、暮らしを守る姿勢が弱いことだ。特に、国保料・介護保険料等の値上げをはじめ、負担増を押しつけたことは重大である。

■墨田区のものづくり支援策のシンボルであった中小企業センターを廃止し、新たな「すみだビジネスサポートセンター」の巡回相談等の実績は大幅に落ち込んだ。

■シルバー人材センターの大事な仕事場になっていった錦糸町駅駐輪場等の管理を民間企業に委託した。同法人の仕事を奪ってしまった区の責任が厳しく問われる。

■高齢者名簿の警察署への提供について、世田谷区では提供を取りやめた。プライバシー保護に対する区の認識を改め、直ちに名簿の返還を求めるよう強く要求する。

認定 公明党

■財政力指数が着実に伸びていることや実質収支、単年度収支がともに黒字になったこと、また次年度に向けた予算編成や事業見直しについて、建設的な議論ができたことから各会計決算は認定する。

■事業別コスト分析はフルコストの情報を盛り込んで事業の全容が把握でき、事業別のセグメント分析シートとなるため、来年度には改善するよう求める。

■開かれた区政のため、区民に影響する重要な決定は、早期に開かれた場で区民の声を聴く、新たな仕組みを創設することを求める。

■山本区長1期目の総決算となる来年度予算編成に当たり、区民からの真摯な意見に耳を傾け、区民福祉の増進につながる区政運営を求める。

認定 すみだ新政会

■施策を実施すること自体が目的化している事業もあり、波及効果検証が行われていない側面もあった。またPDCAサイクルの徹底が不十分な事業も存在し、今一度、身を引き締めて改善を求める。

■切れ目ない子育て支援や待機児童解消に向けた保育園整備など、子育て環境の徹底整備と、若者や障害を持つ方の就労支援を求める。

■東京スカイツリー周辺の更なる活性化、区内美術館・博物館との連携強化による国際観光都市すみだの実現に向け、取組強化を求める。

■選択と集中、民間感覚、コスト意識、スピード感を大切に、「夢」実現プロジェクトを着実に推進して、来年度の予算編成につなげていくことを求める。

認定 すみだの絆

■「地域力日本一」を目指すことは大いに共感するが、町会に対する支援や東向島児童館分館での問題など、本場に「区民目線」につながる墨田区」なのか疑問に思う点はある。

■大学誘致後のまちづくりやオリピック・パラリンピック、また区南部での元気高齢者施策など、来年度予算を期待している。

一部不認定 墨田オンブズマン

■各制度の運用や施設運営など、区民感情を考えず、規則どおりにしか対応できない職員がいるが、既に時代遅れであり、区長の指導力が問われる。

■保険料の増加で区民の家計は圧迫されているが、今後増える外国人労働者が国民健康保険に加入することで、保険料負担は更に増大するため、対策は急務である。

認定 都民ファーストの会

■人口推移や生活状況など、常に最新の状況を見極め、財源の着実な確保が必要である。

■民生費の割合が57パーセントというのは、自治体運営上、健全な状態なのか見極めるべき。

■23区内での人口移動や各区の区民生活状況を把握し、各款別、各所管の予算配分を再検討すべきである。



決算特別委員会のようにす

主な質疑

業務改善推進プロジェクトのデータを検証して実態把握を

問 平成28年度から29年度にかけて、業務改善推進プロジェクトを実施したが、コストを掛けたのにそのデータが検証されておらず、実態を把握していないことは問題だ。

答 現在、事業の仕分けを行っている段階である。当然、コスト以上の効果を出さなくてはならないと考えており、業務量の調査結果を具体的な改善に結び付けていく。

幼児教育支援のために人材確保の支援を

問 幼児教育の支援には、家庭教育支援も重要である。各家庭への支援は、幼稚園等を通じて行うことが可能であるから、幼稚園等が優秀な人材を確保できるよう総合的な支援の検討を。

答 各園の質の向上や、家庭とのパイプ役というところも含め、職員と意見交換等を行い、現状を認識した上で、今後の対応を構築したい。

過去5年で最大の使い残しは区民サービス向上のために使うべき

問 決算では実質44億円の使い残しがあるが、小・中学校体育館の冷房設置などに充てる財源としては十分である。基金への積立てではなく、区民サービス向上のために使うべき。

答 要因は歳入の収入率が昨年度より高かったことである。本区の基金残高は23区の中でも非常に厳しい状況にあり、また、補正予算の財源としても、積立ては必要だと考える。

事業の実施には最大限の効果を求めるべき

問 マラソン大会の実施や突き出し看板の調査など、実施することが目的化された事業が多い。予算に見合った効果を求めるべき。

答 事業の改善等が上手くできず、実施することが目的化した部分もあるので、検証した上で予算編成に生かさなければならぬと考える。

東向島児童館別館には利用者に対する柔軟な対応を求める

問 東向島児童館別館の利用について、安全上の理由から、入館に当たり人数制限を設けることは理解できるが、柔軟な対応も必要では。

答 遊び中心の特殊な施設であることから人数制限を設けたが、利便性と安全性を考慮しながら工夫していきたい。

高額な区立中学校の制服に対する考えを伺う

問 区立中学校の制服が非常に高額で家庭への負担は大きい。中学校3年間で成長に伴う買い替えも難しく、こうした現状への考えは。

答 制服は必要経費であるため、安価な方がよいと考える。事業者選定にはプロポーザルなどの事例を参考に、安価になるよう努める。

国民健康保険特別会計への繰出金の歯止めは必要

問 一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金は仕方がないことだが、歯止めや制限は必要であり、それに対する区の考えは。

答 23区統一の保険料方式に沿っていることが一定の歯止めになっていると考えるが、区民生活の状況等を考えながら段階的に解消したい。



墨田区議会各会派 今年の抱負



自由民主党
幹事長
福田はるみ

日頃から墨田区議会自由民主党にご支援を賜り誠にありがとうございます。また新成人の皆様、おめでとうございます。さて、今年は平成で始まり5月から新元号に変わる変化の年で、私達区議会も4月に改選を迎えます。

昨年、議会改革特別委員会にて検討をしてきた「墨田区議会基本条例」が制定され、区民の皆様にとって、より「開かれた議会」を目指し、一層の「議会活動の活性化」を進めてまいります。また、昨年は多くの自然災害が発生しました。避難所の整備として自民党は「学校屋内体育館空調設備設置」を提案し、今年から徐々に設置が始まります。これからも安全・安心なまちの実現に努めてまいります。

本年が皆様にとって、ご健康で幸多き1年になりますようお願いしております。



公明党
幹事長
おおこし勝広

新しい年がスタートし、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より墨田区議会公明党にご支援、ご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年、墨田区議会は全ての議会活動の根幹となる「墨田区議会基本条例」を制定しました。これから私たち議会・議員は不断の研さんは当然のこととして、多様な区民の皆様のご意見により耳を傾け、開かれた議会の中で皆様に伝わる議論を積み重ねてまいります。そして区民の皆様にとって、信頼・頼りにされる議会・議員となるよう、墨田区議会公明党は、区政を厳しくチェックすると共に、提案力、現場力、ネットワーク力に更に磨きをかけ、皆様の負託にお応えする決意です。今年もよろしくお願い申し上げます。



日本共産党
幹事長
高柳 東彦

皆様におかれましては、新しい年はいかがお過ごしでしょうか。また、日頃より、日本共産党の活動に、ご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、国保料や介護保険料などの値上げに厳しく反対するとともに、就学援助・入学準備金の2月支給と増額、小・中学校体育館へのエアコンの整備、ブロック塀の撤去費用の助成などに力をつくしてきました。今年も、「観光」の名で開発を優先する区政から、区民生活優先の区政への転換を求めて頑張ります。

また、安倍政権が進める9条改憲を許さず、消費税10%増税ストップへ、「野党と市民の共闘」を発展させ、新しい政治の実現に全力をつくします。本年も、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



すみだ新国会
幹事長
あべきみこ

日頃からすみだ新国会の活動にご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は「西日本豪雨」「大阪北部地震」「北海道胆振東部地震」等、大規模な災害に見舞われた1年でした。

墨田区では、平成30年度から地域の防災リーダーとして活動する防災士を育成するとともに、将来の地域の担い手である中学生に防災教育の一環として普通救命講習を受講するなど、自助共助の防災対策を強化してきました。

今後とも区民の皆様のご生命、財産の安全が保たれる災害に強いまちを目指してまいります。また、行政ニーズが多様化する中、限りある財源の効果的・効率的な運営で、課題解決に取り組んでまいります。本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年第4回定例会 議決議案等の審議結果											○賛成 ×反対		
件 名			会派名等 ()内は会派所属議員数							議決 結果			
			自民党 (12)	公明党 (7)	共産党 (5)	新政会 (2)	きすな (1)	墨田才 (1)	新すみ (1)		無所属 (1)	都ファ (1)	
区 長 提 出 議 案	報 告	平成29年度墨田区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	×	○	○	○	認定	
		平成29年度墨田区国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	×	○	○	○	認定	
		平成29年度墨田区介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定	
		平成29年度墨田区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定	
	予 算	平成30年度墨田区一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		平成30年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		平成30年度墨田区介護保険特別会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		平成30年度墨田区後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
	条 例	職員の自己啓発等休業に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区地域プラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区児童育成手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区福祉作業所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	そ の 他	八広地域プラザの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		すみだ生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		両国屋内プールの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		スポーツプラザ梅若の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		すみだスポーツ健康センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区総合運動場の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		中川児童館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区水神保育園の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
		すみだ産業会館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
委員会提出議案	条例	墨田区議会基本条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
議員提出議案	条例	墨田区子ども読書活動推進条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
	意見書	葬祭業における法整備の推進に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		火葬料金の低廉化に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		認知症施策の推進に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願・陳情	陳情	臓器移植の環境整備に関する陳情	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択	
		葬祭業における法整備の推進と都内における火葬料金の低廉化及び福祉葬の公平・公正な運用に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
		押上駅の改善に関する陳情	第1項第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
			第1項第2号、第2項	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
		株式会社島田商店による墨田区東墨田二丁目16番における工場建設の認可申請に関する陳情	×	×	○	×	×	○	×	×	×	不採択	
		東墨田地区（東墨田一丁目から三丁目）の用途地域の見直しに関する陳情	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択	
		「北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業」の計画見直しに関する陳情	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択	

【次の会議日程(予定)】

	会 議 名	開会時刻	傍聴席		会 議 名	開会時刻	傍聴席
1月 28日(月曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	17階	2月 25日(月曜日)	予算特別委員会	午前10時	17階
2月 1日(金曜日)				2月 27日(水曜日)			
2月 4日(月曜日)	本会議(第1回定例会初日)	午後1時	19階	3月 1日(金曜日)			
2月 8日(金曜日)	議会運営委員会	午後2時30分	17階	3月 4日(月曜日)			
2月 12日(火曜日)	本会議	午後1時	19階	3月 6日(水曜日)			
2月 13日(水曜日)				3月 7日(木曜日)	地域子ども文教委員会		
2月 14日(木曜日)				3月 8日(金曜日)	区民福祉委員会		
2月 19日(火曜日)				3月 11日(月曜日)	産業都市委員会		
2月 20日(水曜日)	予算特別委員会	午前10時	17階	3月 12日(火曜日)	企画総務委員会	午前11時30分	
2月 21日(木曜日)				3月 14日(木曜日)	議会運営委員会		
2月 22日(金曜日)				3月 19日(火曜日)	本会議(第1回定例会最終日)	午後1時	19階

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。

会 派 等 の 所 属 議 員

略 称	会 派 名 等	所属議員名(五十音順)
自民党	墨田区議会自由民主党	沖山 仁、加藤 拓、木内 清、坂井ユカコ、坂下 修、佐藤 篤、しもむら緑、瀧澤良仁、田中邦友、中沢えみり、樋口敏郎、福田はるみ
公明党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、高橋正利、千野美智子、とも宣子、はねだ福代
共産党	日本共産党墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、村本ひろや
新政会	すみだ新国会	あべきみこ、堀よしあき
きすな	地域連合「すみだの絆」	田中 哲
墨田オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
新すみ	新しいすみだ	井上ノエミ
無所属	無所属の会すみだ	西村孝幸
都ファ	都民ファーストの会墨田区議団	渋谷ちしゅう